

第6学年 「わたしは段ボール建築家」(工作に表す) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、段ボールの特徴を生かして自由な発想で自分なりの段ボール建築をつくることをねらいとしている。

目標

- 段ボールの特徴に興味をもち、平面が立体になる楽しさを味わいながらつくりたい建物をつくることことができる。
- つくりたい建物の形を思い描き、組み立てる順序を考えたり、よりよい表現を追求したりすることができる。
- 自他のよさや工夫を見つけたら、建物をつくる楽しさや形の美しさを味わったりすることができる。

表現内容

- 何を：自由な発想で自分なりの建物を
- 何で：【主材料】段ボールで
- 【造形要素】

- ・段ボールの特徴
- ・建物の構造(立体)
- ・組み立て方の組合せ

○どのようにして：

- ・写真や参考作品から自分がつくりたい建物を自由に発想して
- ・カッターナイフや接着剤などを使って
- ・思いによって組立て方や順序を選んで

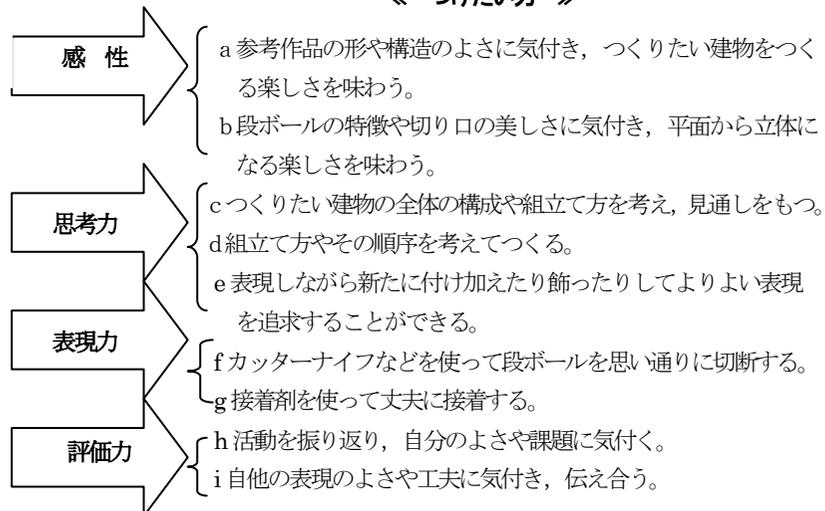
子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちの「わたしの町愛宕」(絵に表す)で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

《 子どもの実態 》

- ・参考作品や自分の選んだ場所の風景のよさや美しさに気付くことができた。
- ・自分の思いがよく表れる構図や背景に描き入れるものを考えたり、どの順番で表せばいいか計画を立てたりしてよりよい作品になるように工夫していった子どももいるが、中にはうまく構図が思い浮かばず難しさを感じる子どももいた。
- ・5色の指定された色から混色して自分なりの色を創り出して彩色したり、影の部分を重色して立体感を出したりして、最後まで粘り強く取り組んだ。
- ・自分の成長に気付くと同時に、友達作品を見て自分の作品や取り組みの足りないところに気付いた子どももいた。

《 つきたい力 》



4つの力を働かせ、認知する活動や手立て

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆ 教えること	㊟ 探求活動	㊞ 交流活動	㊟ 振り返り活動	共感的価値付け
<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールの特徴 ・建物を作る手順 ・組立て方 ・カッターナイフの使い方 ・接着の仕方 ・飾り方の技法 	<ul style="list-style-type: none"> a いろいろな建物のプレゼンテーション、写真の提示 a b c 参考作品との出合い b c d 段ボールのパーツを組み立てる試しの活動 c d アイデアスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> c e g 友達の作品の工夫を見つけ、自分の作品に生かす中間交流 e g h 課題を解決するための中間交流 b d e i 教師による作品の紹介 h i 学年全体での鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> h i 振り返りノートの活用 e h i 制作途中の作品の展示 h i 制作途中の写真を使った振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・見取りたい子どもの姿の設定 ・見取り表の作成 ・言葉掛け ・コメント書き ・聞き取り ・まとめの価値付け

2 指導計画（12時間）

◆教えること ㊟探求活動 ㊞交流活動 ㊟振り返り活動

配時	発想・構想 ①	構想 ②③（本時2/12）	表現 ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪（本時8/12）	鑑賞 ⑫
主 な 動	1 参考作品や建物の写真を見て建物をつくる意欲をもち、活動の見通しをもつ。	2 パーツを組み立てて試しを行い、つくりたい建物をイメージしてアイデアスケッチを描く。	3 つくりたい建物をつくる。	4 学年で鑑賞会をする。
見 取 り ど た も い の 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションや建物の写真を見て建築物の美しさ、おもしろさに気付く。 ・参考作品を見て段ボールの特徴や組立て方に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な形のパーツを組み合わせて、どんな形にしたいのか、どんな組立て方があるのかを試しながら見つける。 ・自分がつくりたい建物にあった組立て方を選び、アイデアスケッチをしながら構想を練る。 ・どの順番でつくればスムーズにいか順序を考え計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がつくりたい建物の組立て方を理解し、思いに合わせてつくる。 ・カッターナイフを正しく使って切断したり、接着剤を使って丈夫に接着したりしてつくる。 ・つくりながらさらにイメージをふくらませ、形を変えたり、飾りをつけたりしてつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の取り組みや作品のよさを紹介する。 ・友達の作品のよさに気付き、伝え合う。 ・自分の成長に気付く。
か せ る を 認 手 働 立 か す て	<ul style="list-style-type: none"> ㊟建物の写真、プレゼンテーション ㊟参考作品との出会い ㊟振り返りノート ◆組立て方（資料掲示） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆段ボールの特徴（資料掲示） ㊟段ボールのパーツを組立てる試しの活動 ㊟試して気付いたことの交流 ㊟振り返りノート 	<ul style="list-style-type: none"> ◆組立て方（資料掲示） ◆カッターナイフの使い方（資料掲示） ㊟参考作品の展示 ㊟課題を解決するための中間交流 ㊟振り返りノート 	<ul style="list-style-type: none"> ㊟出品カード ㊟自由に見て回れる交流形態 ㊟振り返りノート
学 習 活 動 と 内 容 (O)	<p>(1) 建物の写真やプレゼンテーションを見る。 ○プレゼンテーションなどを見て、建築物をつくることを知り意欲をもつこと (感)</p> <p>(2) 参考作品を見て材料や組立方や順序について話し合う。 ○様々な技法について知ること (思)</p> <p>(3) 段ボールの特徴について話し合う。 ○段ボールの特徴や加工の仕方について今までの経験を振り返ること (思)</p> <p>(4) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>	<p>(1) 段ボールのパーツを組立てながら、つくりたい建物のイメージを考える。 ○段ボールのパーツを使って試し活動を行い、つくりたい建物をイメージすること (思)</p> <p>(2) どんな技法を使えばイメージした建物をつくることができるか考えながらアイデアスケッチを描く。 ○自分のつくりたい建物のイメージをスケッチに表すこと (表)</p> <p>○どんな部品をどのくらいつくればよいか見通しをもつこと (思)</p> <p>○つくる順番を考えること (思)</p> <p>(3) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>	<p>(1) カッターナイフの使い方と接着の仕方を知る。 ○カッターナイフを正しく使ったり、接着剤を使ったりして丈夫な建物をつくること (表)</p> <p>(2) アイデアスケッチをもとに自分が選んだ技法で建物の基本的な形をつくる。 ○建物をつくるために必要な部品やパーツを考へつくる順番に気を付けてつくること (思・表)</p> <p>(3) 課題を解決するための中間交流をする。 ○自分が課題としていることを質問したり、よい工夫を助言したりすること (評・思)</p> <p>(4) さらによい建物にするために飾りをつける。 ○窓、屋根、壁などを工夫してつくること (表)</p> <p>(5) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>	<p>(1) 全員の作品を音楽室に展示し、鑑賞会をする。 ○作品の面白さや工夫、よさを見つけること (感・評)</p> <p>(2) 出品カードに友達の作品や取り組みのよさを書き込む。 ○友達の作品や取り組みのよさを見つけ伝えること (評)</p> <p>(3) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)</p>

6 展開

3 本時目標

- 段ボールのパーツを組み立てる試しの活動を通して、つくりたい建物の構想を練ることができる。
- 自分の活動を振り返り、取り組みのよさや課題に気付くことができる。

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、段ボールのパーツを組み立てる試しの活動を通してつくりたい建物の構想を練ることができるであろう。また、自分の活動を振り返り、取り組みのよさや課題に気付くことができるであろう。

- ㊦自分のつくりたい建物をはっきりイメージさせるための段ボールパーツを組み立てる試しの活動
- ㊧段ボールの特徴やつくるときの留意点に気付くための交流
- ㊨自分の表現のよさや課題に気付くための振り返りノートの準備

5 準備

子ども…アイデアスケッチ用紙, 振り返りノート
 教師…段ボール, ゴム, ひも, 参考作品
 ビニールテープ

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時の活動を振り返り、本時のめあてを考える。</p> <p>○本時の活動の見通しをもつこと (思)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 段ボールの部品を組み立てて試しながらかつくりたい建物のイメージをつくろう。 </div> <p>2 段ボールの部品で試しの活動を行い、つくりたい建物のアイデアスケッチをする。</p> <p>○部品を組み立てながら建物のバランス, 形, 技法をイメージすること (思)</p> <p>○つくる順序を考えること (思)</p> <p>○丈夫につくる工夫を考えること (思)</p> <p>○イメージしたものをアイデアスケッチすること (表)</p> <p>3 試しの活動を行って気付いたことを話し合う。</p> <p>○丈夫さ, デザイン性, 加工の仕方に着目して気付いたことをプリントに書くこと (思)</p> <p>4 本時の活動を振り返る。</p> <p>(1) 振り返りノートを書く。</p> <p>○自分の取り組みのよさや課題に気付くこと (評)</p> <p>(2) 自分のよさ, 友達の取組のよさを伝え合う。</p> <p>○自分や友達の表現のよさや違いを受け止めること (評)</p> <p>(3) 本時の気付きや学びを確かめる。</p> <p>○(本時の学習で) 学んだことや働かせた力を認知すること (評)</p>	<p>㊦段ボールの特徴に気付くように, 資料を提示する</p> <p>◆段ボールの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丈夫 ・切り口が美しい ・剥ぐことができる <p>㊧段ボールのパーツを組み立てる試しの活動を仕組む</p> <p>㊨切り分けた段ボールのパーツを用意した材料コーナーの設置</p> <p>◆平面を立体にする4つの組立て方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱式 ・壁式 ・重ね式 ・切り込み式 <p>◆ビニールテープで仮止めできること</p> <p>㊩試して気付いたことの交流活動を仕組む</p> <p>㊪振り返りノートに自己評価をさせ, 気付いたことや感想を発表させ, 全体に広げる。</p> <p>◆丈夫に接着する必要性</p> <p>◆正確な計算や計測の必要性</p> <p>◆組立て方を工夫すると様々な形の建物にできること</p>	<p>見取りたい子どもの姿の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な形のパーツを組み合わせて, どんな形にしたいのか, どんな組み立て方があるのかを試しながら見つけている。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 長方形を組み合わせると壁や屋根の形として使えるな </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がつくりたい建物にあった組立て方を選び, アイデアスケッチをしながら構想を練っている。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> お城をつくりたいから, 柱式でつくってみよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どの順番でつくればスムーズにいくか順序を考え計画を立てている。

8 / 12時間

第6学年 本時図画工作科学学習指導案

6 展開

3 本時目標

- 段ボールの特徴を生かし、思いに合った技法を選び、建物の飾り方を工夫しながらつくることができる。
- 自分の活動を振り返り、表現のよさや課題に気付くことができる。

4 授業仮説

- 以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、子どもたちは自分のつくりたい建物に合うように表現を試行しながら、飾り方を工夫し、段ボール建築をつくることができるであろう。また、自分の表現のよさや課題に気付くことができるであろう。
- ㊦飾り方の技法を知るための参考作品の工夫についての交流
 - ㊦自分の課題を解決するための段ボールの特徴や用具の使用法、飾り方の技法の資料コーナーの準備
 - ㊦自分の表現のよさや課題に気付くための振り返りノートの準備

5 準備

- 子ども…段ボール、化学接着剤、カッターナイフ、振り返りノート、コンパス
- 教師…段ボール（予備）、片面段ボールアルミ定規、カッターマット、組み立て技法・道具使用法・飾り方の資料、参考作品、見取り表

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時の活動を振り返り、本時のめあてを考える。</p> <p>○本時の活動の見通しをもつこと (思)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 段ボールの特徴を生かして、飾り方を工夫しながら作品をつくらう。 </div> <p>2 飾り方の工夫について話し合う。</p> <p>○参考作品の工夫を見つけること (感)</p> <p>○自分の作品に生かせる工夫を考えること (思)</p> <p>3 自分がつくりたい建物の飾り方を工夫しながらつくる。</p> <p>○段ボールの特徴を生かしてつくること (表)</p> <p>○定規で寸法を測ってつくること (思)</p> <p>○手順や材料・用具を考え、見通しをもってつくること (思)</p> <p>○段ボールの切断や接着を丁寧にするこゝ (表)</p> <p>○技法を組み合わせてつくること (思)</p> <p>○自分の課題に気付く、解決方法を工夫すること (思)</p> <p>4 本時の活動を振り返る。</p> <p>(1) 振り返りノートを書く。</p> <p>○自分の表現のよさや課題に気付くこと (評)</p> <p>(2) 自分ががんばったことや工夫したことを伝え合う。</p> <p>○自分や友達表現のよさや違いを受け止めること (評)</p> <p>(3) 本時の気付きや学びを確かめる。</p> <p>○(今日の学習で) 学んだことや働かせた力を認知するこゝと (思)</p>	<p>力働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)</p> <p>㊦前時までの活動を振り返ることのできる資料を掲示する。</p> <p>◆段ボールには丈夫さや切り口の美しさなどの特徴があること</p> <p>◆カッターナイフや化学接着剤などの道具は安全面に気をつけて使うこと</p> <p>㊦参考作品の窓や屋根、壁や装飾に注目し、気付いたことを共有させるために交流活動を設定すること</p> <p>◆飾り方には貼る、剥ぐ、くり抜くなどの技法があること</p> <p>㊦自分の思いに合った建物を工夫してつくることできるように、参考作品コーナーや試しコーナーを準備する。</p> <p>㊦見取り表をもとに、それぞれの工夫やがんばりを取り上げて認める全体交流を設定する。</p> <p>㊦本時を振り返り、自己評価させ、できるようになったことを書かせる。</p> <p>◆飾り方の工夫には多様性があること</p> <p>◆段ボールのよさを生かしてかざるには、貼る、剥ぐ、くり抜くなどの工夫があること</p>	<p>見取りたい子どもの姿の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてから自分の活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 建物の中が見えるように、窓をくり抜いてみようかな… </div> <ul style="list-style-type: none"> ・屋根や壁の細かな装飾に気付き、自分の作品にどう生かすか考えている。 ・窓・屋根・壁などを工夫してつくる。 ・用具を正しく使い、丁寧につくる。 ・自分の課題に気付き、解決しようとする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 屋根の部分を瓦のように凸凹の段ボールを切って貼ろう！ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・参考作品を見たり、試しコーナーを活用したりしながら、自分の作品にあった技法を選び工夫している。 ・自分のよさや課題に気付き、具体的にノートに書く。 ・自他の表現のよさや工夫に気付く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 私は壁の部分の段ボールをカッターナイフを使って、上手に剥ぐことができました。 </div>